

令和2年度 京都大学大学院法学研究科法曹養成専攻（法科大学院）未修者特別選抜
口述試験（配点：200点満点）

【出題趣旨】午前に行われた口述試験では、福岡真之介編著『AIの法律と論点』（商事法務、2018年）と角田美穂子・工藤俊亮編著『ロボットと生きる社会—法はAIとどう付き合う？』（弘文堂、2018年）の各々一部を、また午後に行われた口述試験では、町野朔ほか編『臓器移植法改正の論点』（信山社、2004年）の一部を、それぞれ資料として提示し、それらを題材にした試問を行うとともに、出願書類に関する質疑を行い、出願者の論理的思考・判断力、理解・分析力及び表現力等を判定した。

【採点基準】資料の内容が正確に理解できているか、論理的に物事を考えることができているか、問題を発見しそれを的確に分析する能力を有しているか、質疑への対応が適切にできているか等を踏まえ、総合的な評価を行った。